

は し が き

法学という漠然とした領域を半年間あるいは1年間の講義で論じることは、非常に困難なことである。どこにウエイトをおいて講義するかによって、その内容もまったく異なったものになる。また、法学に関する一領域の専門家が、「法」全般にわたって論じることは困難であり、また論じてもその内容は偏ったものにならざるをえない。

本書は、法学の基礎的な理論に加えて広い法領域を取り入れるために、各領域の新進の専門家による共同執筆の形式をとり、学問的水準の高さを維持しつつ平易に解説する努力を図っている。

このたびの改訂では、近年の法改正、特に平成17年の商法大改正に基づく会社法の制定に対応するだけでなく、大学での半期の授業に適するように章の再編・削除を行うことにより、ボリュームのスリム化を図り、より使いやすいものとした。

本書が、法律の勉強をはじめようとする人および法律をはじめて学ぶ学生諸君にとって、法律感覚の育成と法律的基礎知識の把握のために、少しでも役立てば幸いである。

なお、本書の執筆にあたり多くの著書からご教示を受けたが、紙数の都合などから個別に引用できなかったため、巻末に一括して参考文献として掲げさせていただいた。

最後に多忙な時間をさいてころよくご協力くださった執筆者各位ならびに出版にあたって種々のご配慮をいただいた法律文化社の秋山泰氏に対して、心からお礼を申し上げる次第である。

2008年7月

編者 三室 堯磨